

◆ アルケットショー・グレイン ◆ (準備)

《材料》

種類	商品名	容量、施工面積
下塗り材(シーラー)	①セニクリル	10ℓ=±80㎡
ベース材	②アルケットショー	25kg=±16㎡
着色剤	③グレインカラー	グレイン25kgに250gが標準

※施工面積は、下地の状況や施工方法、またテクスチャーによって変動します。



①



②+③



③

◆ アルケットショー・グレイン ◆ (施工)

① 下塗り

セニクリル(シーラー)は、下地と壁材の接着をよくするため必ず使用してください。

濃い色を塗る場合は、吸い込みを均一にするため、セニクリルの前に左官シーラー(ハイフレックス等)を塗ることをおすすめします。

セニクリルをローラーなどで塗った後、6~12時間乾かしてください。

2度塗りの際には、4時間以上乾かしてから2度目を塗ってください。

※外装の場合はセニショーをご使用ください



② 上塗り(アルケットショー・グレイン)

アルケットショーは未着色(白色)です。現場でグレインカラー(着色材)にて着色してください。着色する場合は、アルケット・ショー25kgに対して1個(

グレインカラーを混ぜ、ムラができないように攪拌機で混ぜます。

(C0(白)は着色しないカラーを示します)

完全に乾いた下塗りの上に1~1.5mm厚程度に塗ります。

約12時間十分乾かしてください。

※ 自然の鉱物などを原料にしていますので、色むらが出る場合や白華現象がおきる場合があります。また、弾性をもたない性質があり、下地の動きなどによってクラックが発生する場合があります。

〔白華現象とは・・・水と石灰を混ぜた時に、空気と触れて白くなる、炭酸カルシウムの発生現象です。〕



◆施工に関して

- ・ 施工前に試し塗りをしてパターンを確認してください。
- ・ 雨天時など湿度が高い時や、完全に乾燥するまでに雨にあたる場合には材料が流れたり、剥離する場合がありますのでご注意ください。
- ・ 施工時から完全に乾燥するまでに、気温が5℃以下になる場合には、クラックの原因になります。
- ・ 施工方法の文中の説明は、気温20℃の場合の乾燥時間の目安です。
- ・ 天候や気温・湿度によって乾燥時間は異なります。
- ・ 乾燥を急ぐ際の器具等を使っての急激な乾燥は、ひび割れの原因になりますので十分ご注意ください。
- ・ 外装に使用する場合に軒天のない場合は汚れが付着しやすいのでご注意ください。
- ・ 寒冷地の特に積雪地帯に使用する場合は亀裂や剥離の恐れがありますので必ず担当者にご相談下さい。
- ・ 各作業は、必ず前工程の乾燥後に行ってください。
- ・ 養生は施工後できるだけ早く除去してください。

◆安全に関して

- ・ 施工場所をよく換気してください。
- ・ 誤って目や口に入ってしまった場合は、清潔な水で洗い流すなどしてから医師の診断を受けてください。
- ・ 施工後は手洗い、うがいを行ってください。

◆下地に関して

モルタル

- ① モルタルの養生は、しっかりと行って下さい。
- ② モルタルの凹凸や亀裂がある場合は補修をお願いします。
- ③ 専用シーラーの前に急激な吸水を和らげるため、浸透性のプライマーを塗る事がお奨めです。
 - ・ いずれの場合においても、乾燥が不十分ですと仕上げ材の乾燥の遅れにより表面強度の低下や剥離の原因になりますのでご注意ください。

石膏ボード

- ① 石膏ボードの動きや剥離がないことを確認します。
出隅に面引きを使う場合はカッターで出隅の面をカットしておく作業がしやすくなります。
- ② 目地の部分にジョイントテープ(寒冷紗テープ、ファイバーテープ)を貼ります。出隅、入隅部分も同様の作業を行います。
- ③ はじめに下パテをヘラ等でビス穴に埋めます。次にジョイント部分を約15cm幅で塗っていきます。出隅、入隅部分も同様に約15cmの幅で塗ります。
- ④ 下パテが完全に乾燥した後、上パテをビス穴に塗ります。
同様に上パテでジョイント部分、出隅、入隅に約20cmの幅で塗っていきます。